

夕 日 三 月 三

常磐毎日新聞

定価 一紙五銭 一月一元五角 三月四元 半年八元 一年十五元
 印刷所 常磐毎日新聞社 印刷部 印刷部
 電話 六三〇番
 行所 常磐毎日新聞社 印刷部
 電話 六三〇番

家庭教育と母

千葉 右近

(一)

皇后陛下の御誕辰日である三月六日を婦人團體に於て「母の日」と命名し、婦人の向上と家庭教育の振興を圖る宣傳日とした。社會の發展と國家の興隆とは一歩かゝつて教育にあることと言ふまでもない。世界各國競ふて教育の普及と發展に努力して居る所以はこゝにある。然るに眞に教育を發展せしめ様とするには家庭教育の如何によつて左右される。

学校教育を如何に發達せしめ様とあせつても家庭教育がそれに並行しない時には学校教育の效果は半減される。こゝに於て世の識者は教育は先づ家庭教育よりと考へるに至つた。然るに家庭教育をして有効ならしむるには其の中心である母其の人の教育觀の如何によつて決定せらる。母は常に家にあつて最も多く其の子女と接觸してゐる。感化は接觸から起つて來るが故に母その人にして教育に留意するでなければ家庭教育の眞價を發揮せしむることは出來ぬ。

つまり社會の改善と國家の發展は一般教育にあり、一般教育の效果は家庭教育にある。家庭教育の興廢は母の考へ一つによつて岐れると云ふことになつて來る。母の目を設け母の教養と向上とを強調させるに至つたのも蓋し當然と言はねばならぬ。この意義深き「母の日」に際して自己の抱懷して居る家庭教育の一端を廣く世の母に申し上げたいと思ふ。

第一に母は眞實に自分の子供のものを知つて貰ひたい。子供の生れつきの性質を知ると云ふことは教育の出発点であると同時に、眞に子供を愛するといふことである。醫師が患者を治療するには先づ病狀を詳細に診察して然る後に投薬をする。診察が細密であればある程よき投薬をなし病者を癒して全快を早からしむる事が出來る。これと同様に、よき養は、子供の性質によつて合致せしめてこそ始め、効果がある、だから子供の個性、即ち知能の程度、性質の傾向等がどんなであるかを知り、其れに適する教育法を攻究せねばならぬ。

數學が得意なのか、綴方が好きなのか、内氣なのか、外氣なのか、これ等のことを知悉して始めて長所を延ばし短所を補ひ、悪質をおさへ美質を伸ばす事が出來る。斯の如き個性を基礎とせる教育が教育の理想なのである。

次に子供には出來るだけ多くの體驗を與へよと云ふことである。子供の教育には無理があつてはならぬ。無理なくして多くの知識技能を與へる工夫を講ずることが教育の秘訣である。知識を注入し強制して覺えしめ様とするのは効果がなない許りか子供の精神を萎靡せしめる。親は子供が自發的に八つを要求する如く知識を求めしめねばならぬ。斯するには努めて彼等に種々の經驗を持たしむるを要する。玩具を與へ、運動具を與へ、雜誌を與へそれ等に親しんで居る間に自然と種々の知識收得せしめ技能を練磨する。

【朝】味噌汁：ねぎ 小付
 こんぶ辛煮
 【晝】粕漬 鱈 小付 花
 らつきよう
 【晚】小井 鹽から 寄鍋
 (くわい) 芝えび
 ど しらたき 三
 葉)

【朝】味噌汁：ねぎ 小付
 こんぶ辛煮
 【晝】粕漬 鱈 小付 花
 らつきよう
 【晚】小井 鹽から 寄鍋
 (くわい) 芝えび
 ど しらたき 三
 葉)

たらちりなべ	三	三	さしみ御飯	二十五錢
ちりなべ	三	三	天ふら御飯	三十錢
あなごなべ	三	三	海老天ふら	四十錢
よせなべ	三	三	御飯吸物付	三十五錢
かきなべ	三	三	海老天ふら	三十錢
ねぎまなべ	三	三	海老天ふら	三十錢
煮込なべ	三	三	親子井	二十錢
鳥なべ	三	三	かしら五もく	二十錢
牛なべ	三	三	御子様すし	二十五錢
豚なべ	三	三	まぐろすし	二十五錢
かきフライ	三	三	鐵火井	二十五錢
かき酢の物	三	三	鐵火卷	二十五錢
あんこも酢	三	三	好たけ卷	二十五錢
			あなご卷	二十五錢

●出前持大至急入用
 平二警察署裏通り
魚清食堂
 電話六三〇番

時代の要求
 皆様の足？
 尼子タクシーへも豆タクが入りました
 御立關から立關へ 迅速簡便
 是非御利用を
 市内 三〇錢
 市外 四割引
 流線型セダン
 大型貸切バス
 宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします
 平町二丁目
尼子自動車商會
 電話六四〇番

かまぼこ 造製
 杉本屋
 平町一丁目
 お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚
一本孫實
 電話一四一番

ほねわざ
 桑原柔道整骨院
 平町園下電話六三〇番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
 醫學士 鈴木 正男
 平町田町 (電話五八番)
 藤田女學校前
 自炊のお需めへ應ず
 入院の便あり



玉屋洋品店
 平町田町 電話六五六番

打撃甚大な

底曳船の制限

漁業者俄然奮起

魚族のばん殖保護と稚魚の濫獲防止といふ建前から農林省が減トン方針にある機船底曳網漁業は本縣下に百八十隻を有し千葉以北青森までの太平洋岸關東北六縣中では宮城に次ぐ船隻を數へ相當の漁獲を揚てをる處が今回農林大臣から帝國水産會へ諮問された。沿岸漁業は本邦水産業の根幹をなし漁村における中樞的漁業なるに拘らず今年や年々衰微の傾向にあるは漁村の維持發展上寒心に堪えざる處である」とし縣水産會ではこの條項を加へた答申に絶對反對を叫び帝水へ抗議する

一方本縣としての對策を講ずる爲めえん岸四十里中同漁業の最も多き石城郡水産會の意向を決すべき臨時總會を二十九日縣立水産試験場に開かじめ縣から水産係主任清瀧技師も臨席協議するところあつた縣ではこの結果に基き更に追經濟部長竹内水産課長、清瀧技師外係官協議の上近日中農林省及び帝國水産會へ機船底曳網漁業の漸減主義は止むを得ずとするも急速これが絶滅を期さんとする意見には絶對反對である旨陳情書を提出することになつた

縣稅の帶納

十五萬圓突破

けふから競賣開始

平縣稅務出張所は本三日午前十時持から同所内で平、四會兩町の十年度前期分縣稅滯納五千圓の公賣處分を行つたが全部滯納額は約五萬圓、それに繰越滯納額を加へると十五萬圓の滯納となるので同所ではドシ／＼強制處分に附して整理を急いで居る

集配取扱開始 入遠野郵便局は去る一日から一般郵便事務の外郵便物集配の取扱を開始した

第二區研究会 内郷第二小學校で石城教育部第三區第一方部研究会は明四日午前十時から内郷第二小學校に開會

同校一年は讀方、五年は書方の實地授業を行つて午後から批評會を開く

四倉消防幹部

署管内二町四ヶ村の消防幹部大會は来る廿一日同町海盛座で開催されるが五日午

近眼が多く

特に學課が悪い

郡下海軍志願兵試験

既報去る廿九日より三日間平第三小學校で執行された郡下海軍志願兵採用試験は第一日の受験者百十名のうち二十四名合格、第二日は六十四名に對して五名、第三日は四十五名に對して五名、合計二百十九名の受験者中三十四名の合格を見たが合格率は昨年度より悪るく縣下各郡の合格率から見ても可成劣つて居るのは學課では數學が殊に悪くまた近眼の者が相當多かつたのが原因してゐる

電氣屋さん御注意

届けを怠ると失格

客年十月一日から電氣工事人取締規則(昭和十年九月三十日逓信省令第三十一條)が實施されることとなつたため屋内及家屋の外面上における電氣工事(看板廣告燈の電氣工事を含む)に従事せんとする者は電氣事業の従事員、家用電氣工事の従事員たるを問はずすべてこの規則に依り逓信局長の免許を受けぬ以上は電氣工事に従事することが出来なくなつた、しかし同規則附則末項に依り同年十月一日現在において電氣工事に従事しつゝゐた者は同日から六ヶ月以内に電氣工事人届けを提出すれば十月一日以降滿三ヶ年間は免許がなくとも業務を繼續し得るが若し六ヶ月以内に届出をしないと業務を繼續し得ないことになる

中堅評議會

中堅農民講習會の評議員會は本三日午前七時より團體事務所樓上に開會總會日取決定その他を協議した

今年の簡閱點呼

參加者決定す

十一年度簡閱點呼參加者は左の如く決定された
△下士官(通常一年置)
幹部候補生出身者 大正十四、昭和二、四、六、八年、昭和二、四、六、八年入營
志願に依り任官した者 大正十四、昭和二、四、六、八年任官
者兵より任官した者 大正十四、昭和二、四、六、八年徵集者
幹部候補生にして二月、四月に入營せる者 大正十五、昭和三、五、七、九年一般 大正十四、昭和二、

男女工見習

右至急募集す

希望者來談あれ

常磐毎日印刷會社
長橋町 電話六三〇

四、六、八年徵集者
△第一補充兵通常二年置
教育召集者 大正十四、昭和二、四、六、八年徵集者
未教育者 大正十五、昭和四、七、十年徵集者

平町人事

出生
丁目三馬目與三郎氏長

男光平
回死 亡
△杉平若松ツタ(六四)さん

看護婦急派
求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
南町一六二番地(七ノ番)

産婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑士 大岩俊雄

平町新川町十九
病室完備
入院隨意
木村病院
電話一六四番

長女綾子儀永らく病氣の處本日午後一時十分死去仕り候に付此段御通知申上候敬具
追而送葬の儀は来る三月五日午後二時自宅出棺菩提院に於て執行仕るべく候
昭和十一年三月三日

父 鈴木彌太郎
外親戚一同

軍醫さんから

醫學博士へ

磐中出身の鈴木氏 更に研究へ精進

平町北目、鈴木武彌氏實弟鈴木芳之助は昭和八年一等軍醫として、十葉陸軍衛戍病院長を退職したがその後千葉葉科へ學の研究室に閉ち籠り「肝臓の酵素作用に就いて」専心研究を重ねてゐるが今回遂に醫學博士の學位を授與されたので近々仙臺市に病院を經營する

事になつたが氏は磐中第一回卒業、大正六年より十年迄軍醫として滿洲駐在、四國松山衛戍病院、第二師團軍醫部を経て千葉病院長を四年在職して本郡出身者間の誇りとされてゐるが氏は更に丹毒治療の研究を續けて居り近くその發表を期待されてゐる

鮫川水路

年越しの紛糾

組合側近く出縣

總工費三十八萬圓で八年以來四ヶ年繼續事業として施行中の鮫川疏水復活工事は八、九の兩年に上野野村字皿貝地内取水口より同村架樋までの第一期工事を終り

更に今年度から第二期に着手する豫定であつたが縣當局と疏水側の設計違ひから未だ着手するに至らないので疏水組合側では近く出縣して施行促進の陳情をする

玉齋控訴す

けふ二年は重い

東京市板橋區大谷口町居住竹田由次郎(八)が玉齋と號して稀代の詐欺を働いた事件は既報の如く平區中島裁判長より懲役二年を言渡されたが由次郎は右判決を不服として今三日控訴した

因に平支部に於ける判決は郡内でのみの犯行の六十七口貳千數百圓の起訴分であるだけに今回の控訴により全國に亘る犯行に擴大し反つて不利の立場になるものではないかと關係方面より

各町村の 財政指導

縣では年度末を控へて郡卜各町村財政事務の刷新を計る爲め來る七日郡内各町村の収入役を平町役場に集め豫算及び決算に關する事項に就いて指導する

大敷さで 濱活況

今月末に投網 大寒流の襲來による不漁續きもどうやら峠と見て石城各濱の大敷網はいよいよ本月から投網を開始すべく目下大童となつて準備中であ

賑つた學藝會

廊下でコート盗難騒ぎ

モ、の節句の平第二 今三日の桃の節句の佳き日に催された平第二小學校の學藝會は好天氣に恵まれ早朝より父兄數百名參集 非常に盛會を極めたが一年生のあどけない演技に見とれてる内廊下の机の中に置いた平町二丁目石川清子さん探中である

風呂敷の怪少年

逃走途中に御用

昨二日午後五時頃平驛待合室に十六七才の少年が大風呂敷を抱へて「グッ」して居るのを平署員が不審に思ひ取調べると同人は元湯本町三箇寫眞業沼地寅三郎方店員富山縣上中島村生れ無職寺主正次(七)假名で昨年四月より見習奉公中去年二月十七日主家の寫眞臺紙百十

明日のラジオ

今晩は晴明日も同様

今夜の部

- 後八、〇〇 狂言「二人大名」多々良外茂三他
- 後八、二五 琵琶「西郷隆盛」松井灯水(秋田)
- 後九、〇〇 歌謡「レヂュー」BK文藝課案出
- 後九、三〇 時報 ニュー
- 後九、三〇 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

- 前七、〇〇 英語講座 石
- 四枚の外藥品印書紙等二十餘圓分を窃取して逃走した

廿娘が火達磨

テルちやん遂に往生

箕輪村大字大利農根本幾太郎の娘テル(三)さんは去る日午後三時頃自宅で風呂番をしてゐるうち衣類に火が燃え移り顔面その他に大火傷を負つて悶倒したが昨日午後三時遂に絶命した

菊多實補校 菊多實關西へ旅行 業學校の今年度男女卒業生三十二名は吉田校長、石川教諭引卒の下に來る十日より三泊四日の行程で東京、横濱、鎌倉方面の修學旅行を行ふ

人夫を襲つて 卅錢を強奪

山田の犯人捕はる

山田村大字富澤生れコンクリート職工大平登(三)は昨日午前零時半頃茨城縣東茨城縣河和田村の炭焼人夫大林久吉(四)を襲つて金を貸せと脅迫所持金三十錢を強奪して逃走したが午前六時同村内で水戸署員に檢舉された

鮫川水路視察

一行けふ歸縣

昨報二日鮫川水路の視察を行つた縣阿部土木主事並に國分技手の一行は本三日郡

木村病院

平町新川町十九 電話一六四番

平職業紹介所啓告

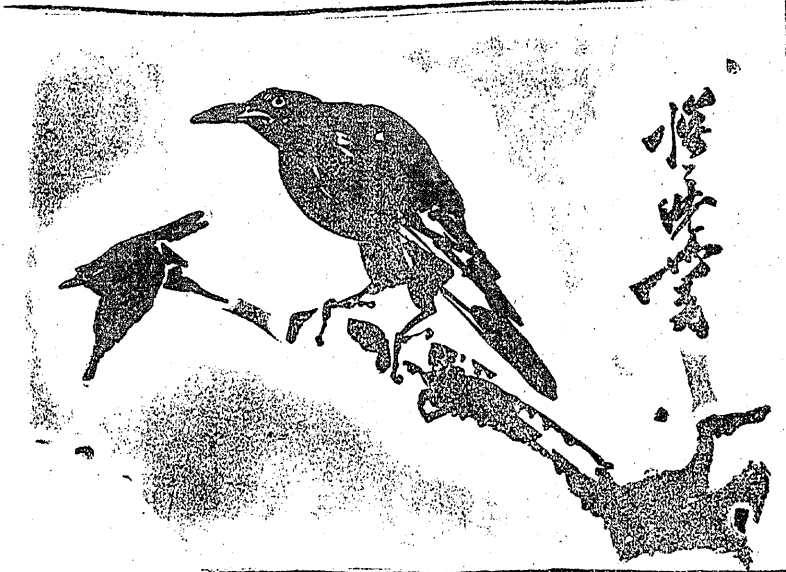
- △人々を求め方
- △雑役 二十前後 尋卒 給料面談
- △コック見習 二十迄 尋卒 月五圓
- △漁夫 五十迄 月三十圓
- △農夫 二十五以下 月八九圓
- △回 職を求め方
- △電工 二十三才 高卒
- △自動車助手 二十才 高卒
- △子守 十一才 尋一修
- △洋服裁縫 三十六才 尋卒



瓦解の設 (上) 悟道軒圓玉 (作) 尾至陽 (畫)

六二 船宿の二階 齋藤嘉平次は吉原堤にて 青木と岡田を斬るつもりで あつたが二人を見失ひ、さ

が、こゝで駕舟をもどし門 人をつれて吉原へ来て遊ん だ、この勘定が五兩三歩、



鴉 (喜多流)

嘉「逃げたぞ憎い奴だ、こ れまで追つて参つて取り逃 がした返す返すも残念な

が嘉平次を見アホー、 鳥にまで馬鹿にされた。

此方は青木彌太郎に岡田 盟の二人、吉原堤で籠から 抜け出し山谷堀の山崎屋と

藝妓もめてこれを堀の藝妓 といふ、粹な土地でした。 それに待乳山といふ背景も

彌「あゝ草臥れた」と云ひながらさげつてゐた 革袋をそれへ投げ

彌「女將、店にある袋を持 つて来てくれ」

彌「さうだらう、それは女 一人では持てねえ」

彌「さうだらう、それは女 一人では持てねえ」

喜多流 喜多流 喜多流

喜多流 喜多流 喜多流

喜多流 喜多流 喜多流

喜多流 喜多流 喜多流

中野 齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次

日本齒科 醫學士 西川 誠

有給社員募集

- 一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス 固定給ノ外歩合アリ
- 一、資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス 但シ誠意奮闘家ヲ望ム 希望者ハ 午前中當出張所へ面談アラレタシ

野村生命保險株式會社 磐城出張所 平町長橋町四七 主任 福島 健之

優良工員募集

- 一、募集人員及應募資格 1、少年工 若干名 來ル三月小學校高等科卒業 スベキ者
- 2、中年工 若干名 去ル一月又ハ昭和十年中ノ 除隊兵ニシテ成ルベク電氣 關係工事ニ經驗アル者

平 營 業 所

東部電力株式會社郡山支店 平 營 業 所

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

山内醫院

醫學士 山内 亨 吉